

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・fax 284-0761

携帯電話 090-3961-8578

E-mail toukai@oona-mieko.info

終活応援講座に参加

おしのべふれあい協力員サークルは、2024 年度研修会として、「終活」の取り組みについて、村社協から講師を招いて学びました。



村社協による出前講座（おしのべサロン1月16日）



（資料1）終活の始め方・エンディングノートの書き方

講座は大変参考になりました。「自分自身のこれまでの人生をふりかえり整理してみる」取り組みといえるのかな?と。そして、その整理した内容を子どもなどごく近い方とよく共有しておくことの大事さなど。ぜひみなさんにも一度、聞いていただくことをお勧めしたいと思いました。

しんぶん赤旗の魅力「独自の目線・強い追及力」

「赤旗がなければ裏金裏のまま」

〈スcoop〉 自衛隊ミサイルによる「敵基地攻撃」市民死傷も想定 日米同盟絶対 危険な石破政権

石破政権が保有を急ぐ「敵基地攻撃能力」で新事実です。相手国にミサイルを撃ち込めば、どれだけ民間人が巻き添えで死傷するか、その推定法を教える米軍機簡に自衛隊が幹部を派遣していました。「戦争国家」づくりは、相手国の市民に死傷者が出ることも想定しています。

2025 年度予算案で軍事費を過去最大の 8 兆 7005 億円とした石破政権。重視しているのが敵基地攻撃に使う長距離ミサイルの取得など「スタンド・オフ防衛能力」の強化です。この敵基地攻撃能力の保有で新事実です。

（赤旗日曜版 1 月 19 日号）

真実求めれば結果は出る。

巖さん無罪 58年のたたかい 袴田ひで子さん

1966 年静岡県で起きた放火殺人事件で死刑囚となった袴田巖（はかまた・いわお）さん（88）。やり直しの裁判（再審）で昨年 9 月、静岡地裁は無罪（その後確定）としました。事件から 58 年を伴走し続けたのが姉、袴田ひで子さん（91）です。（赤旗日曜版 1 月 19 日号）

